

大分空港

【実施主体：個社】

大分空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ	外航受託料の引き上げ	本社にて、外航受託料の引き上げ交渉を実施。	
	総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の見直し検討に着手。	
	検査会社への委託料の見直し	本社にて、R5年度に引き続きR6年度契約料金の引き上げを実施。	
	委託先との契約金額の見直し	処遇改善含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として、委託先とのFY23契約金額に値上げを反映し実施済み。	【委託費改定率】 グループ内各社：平均+3.9%（FY22対比） グループ外委託先各社：平均+6.2%（FY22対比）
	受託先との契約金額の見直し	受託先全社と2024年4月以降の受託料金引き上げ交渉を行い、各社より概ね要望に近い条件での回答を得た。	2024年4月より、受託料引上げ額を原資とする、大幅な賃上げを実施予定。
【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定等）	外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項の導入を検討中。	
	検査会社への委託契約条件の設定	本社にて、検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。	
	委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋がられるような契約条項について、順次、追加設定を進めている。	
【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	

【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進	オフィススペースの増床・リニューアル	復便、増便に伴う社員増に対応すべく、オフィススペースを増床。あわせて、職場環境の改善を図るため、改修を実施。社員エンゲージメントの向上、採用競争力の強化、コミュニケーションの活性化を図る。	FY24およびFY25を目標に増床/改修工事を実施（予定）。
	・熱中症及び軽食提供に向けた対応	・飲料/食料（ラーメン、焼きそば、ごはん）の提供	現場従業員からは好評
	A320型機ワンマン作業用脚立を製作し2名作業から1名作業に変更	令和5年6月に配備した同型脚立の確認作業を実施 現在1台配備、今後追加で配備予定	
	職員の執務環境の改善。	職員の使用するロッカー室・休憩室の増設及び内装の改善工事を実施。	職員から、執務環境の向上に満足する意見が上がってきている。
【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	
	職員数や労働時間の定点的な情報収集	職員の負担を定量的に把握し改善に繋げていくため、配員バランスや採用状況、労働時間の定点的な情報収集を実施。	
	・配置表による適任者の配置	・配置の事前検討による負荷の分散	資格が多岐に渡り適任者育成に時間かかる
	個別面談を行い現状の把握に努める	属人性業務を減らすため業務分散の取組を実施。	
【短期】 適切な業務量調整による高負荷の抑制	外航側からの応援要員派遣	本社にて外航と調整し、不足人員を外航側からの応援要員で暫定的に充足。（就航後 1か月間 各便2名）	
	正社員領域、派遣領域の見直し	復便、増便に伴う社員負担の軽減のため、採用を強化するとともに、正社員領域の見直しを実施。一部業務については、アルバイト・派遣社員等も活用し業務量（社員負担）を調整。	2023年5月からアルバイト雇用を開始。
	個別面談を行い現状の把握に努める	属人性業務を減らすため業務分散の取組を実施。	
【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）	自社グループ空港業務採用情報の特設サイトを公開	空港業務の幅広さや魅力を発信し、グループ各社への応募者増や委託先各社の採用機会に繋げるため、空港業務の採用情報に特化した特設サイトを公開。	https://www.job-jal.com/airport-recruitment/
	・スカウト業者の活用 ・インターネット求人の実施	・条件に合う要員をスカウト会社から紹介頂く ・インターネット求人（マイナビ）の実施	

【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）	リファラル採用制度の実施	リファラル採用制度を活用し採用活動の強化を促進	
	2024年4月入社新人の確保	県内各高校の進路指導担当教諭と積極的に接触。 学校訪問・空港説明会を多数実施	2024年4月入社新人11名を確保。
【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）	・TOWINGダミーシップの製作	・TOWINGダミーシップの活用による有資格者の早期育成	他地方空港TOWING資格者不足解消の為の取得協力/山形 高松
	ランプ訓練用VRシミュレータの導入	本社にて、航空機の使用や時間的制約に縛られない訓練を可能とするVRシミュレータの開発に着手。人材育成に係る補助金（三次募集）を活用。	
	自社航空管理規程を改訂	自社航空管理規程の教育基準の見直しを実施	
【短期】 需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	・他事業所/他会社（他空港）との交流	・成田事業所との交差教育による人員の育成 他地方空港国際線就航応援 山形空港 南紀白浜空港応援	・6～10月成田より2名交差教育
	空港間の応援派遣	需要回復に対応するため、空港単体でのリソースで対応が難しい場合には、他空港からの応援者を派遣することでリソース不足を解消。	
	他事業所/他会社（他空港）との交流	成田事業所との交差教育による人員の育成 他地方空港国際線就航応援（山形空港・南紀白浜空港応援）	6～10月成田より2名交差教育
	シフト勤務体制の再考	繁忙期における増便対応、国際線就航に伴う作業支援体制を明確化し、リソースの集中投下が可能となるよう体制を再構築した。	体調不良等急な欠員対応はあるが、一時的な作業集中対応含め、潤滑に作業を回せるようになってきている。
【中期】 長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備	自律的なキャリア構築に向けた成長・学びの場の提供	・公募による社内外異動の活性化。 ・グループ内外へ出向・派遣の拡大。	
【中期】 ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	施設・設備の改善	休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査	
【中期】 特定技能制度の積極的な活用	採用の拡大	パートナー社と連携し、採用を拡大。	

【実施主体：空港会社等】

大分空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 空港内の労働環境の改善</p>			
<p>【短期】 空港の知名度を生かした採用活動</p>	<p>転職フェアへの参加で採用活動をアピール</p>	<p>大分市で開催されたマイナビ転職フェアに参加して、空港での仕事紹介および職員募集の状況を広くアピールした。</p>	
<p>【短期】 マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修</p>	<p>ハンドリング部門以外の人材をマルチ活用</p>	<p>管理部門の職員でハンドリング経験のある人材をグランドハンドリング（国際線）要員として活用している。</p>	
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>	<p>大分空港グラハンWGにて作成した各構成事業者様の合同採用サイトを活用中</p>	<p>掲載内容及び掲載画像等を適時更新。</p>	
<p>【中期】 GSE車両の共用化・共有化の推進</p>			
<p>【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージの払拭、更衣室等の施設整備等）</p>			

【実施主体：地方自治体】

大分空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化（人員体制等の正確な現状把握等）</p>	<p>人員体制確保のための調整</p>	<p>国際線誘致に向け、地元グラハン・検査会社の人員体制の把握及び航空会社等と調整を行い、人員確保に向けた連携を常に行っている。</p>	
<p>【短期】 空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施</p>	<p>移住希望者向け就職サイトの紹介</p>	<p>人材確保を目的とし、他部局が運営する移住希望者向け転職サイトへの求人募集掲載の情報提供を実施した。</p>	
<p>【短期】 空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興 等）と連携した支援の実施</p>	<p>移住希望者向け就職サイトの紹介</p>	<p>人材確保を目的とし、他部局が運営する移住希望者向け転職サイトへの求人募集掲載の情報提供を実施した。</p>	
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>	<p>空港WGとの意見交換会</p>	<p>・空港人材確保を目的とし、県が主導して「大分空港のお仕事見学会」を開催する。当日は、空港WGに参加する事業者に協力を依頼し、個別に企業紹介ブースを設置する。</p>	
<p>【中期】 地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討（空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援 等）</p>			
<p>【中期】 特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備</p>	<p>グラハン会社等への支援希望の聞き取り</p>	<p>・特定技能外国人への困り事などについて、聞き取りを実施した。</p>	

【実施主体：国】

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 各地の空港におけるベストプラクティスの横展開（事例収集・整理 等）	公表されたベストプラクティスの空港WGへの展開・周知	公表された「持続的な発展に向けた空港業務に係る取組事例集」を空港WGへ展開・周知。	
【短期】 地域の意欲的な取組への積極的な協力（空港説明会への参画等）	大分高等学校キャリア教育 ～「空港の仕事について学ぶ」～	大分空港グランドハンドリングWGにおいて、将来の労働力確保の一助となるよう、大分高等学校（1年生特進クラス）のキャリア教育とコラボし、空港内の各企業の仕事内容を説明者自身の経験の披露も交えながら説明および現場見学を実施した。	空港内には様々な“仕事”があることを初めて認識した学生が大半であり、非常に関心を持って参加していた。
【短期】 生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援（先進機器の整備補助 等）	地方空港等受入環境整備事業費補助金	R4補正補助金の活用に向けた積極的な周知・取り纏め等	
【短期】 各主体による取組の重要性の発信	「空港業務の持続的な発展に向けたビジョン」の再周知	「空港業務の持続的な発展に向けたビジョン」について、各主体の取組の更なる浸透を図るため空港WGを開催し再周知。	
【短期】 空港WGの活用推進	課題整理及び対応可能な課題の取組実施	空港WGを通じ、各社が抱える問題等を共有し課題整理を行い、対応可能な課題について取組実施。	
【中期】 空港DXの導入促進に向けた実証実験	他空港の導入事例等の横展開	空港WGにおいて航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行った。	
【中期】 更なる支援措置等の検討（人材確保・育成、業務効率化、GX/DX等）	地方空港等受入環境整備事業費補助金について大分空港グランドハンドリングWGへの周知	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度補正予算にかかる補助メニューの説明を実施 ・R5年度補正補助金制度を積極的な活用を周知 ・事業者がR5年度補正補助金制度を利用するにあたり助言等を行った。 	